

## 強い霜に対する農作物の技術対策

福島県農林水産部農業振興課

平成27年4月8日11時08分、「強い霜に関する福島県気象情報 第1号（福島地方気象台）」が発表されました。

県内では、9日朝の最低気温が平地でも氷点下となることが予想されるため、農作物の凍霜害対策を徹底して下さい。

### 強い霜に関する福島県気象情報 第1号

平成27年4月8日11時08分 福島地方気象台発表

（見出し）

福島県では、9日朝の最低気温が平地でも氷点下となり、強い霜や凍害のおそれがあります。農作物の管理に十分注意してください。

（本文）

【霜】＜地域・時期・量的予想＞

福島県では、この時期としては強い寒気の影響で、9日朝の最低気温が氷点下となるところが多い見込みです。

予想される9日朝の最低気温は、低いところで

会津の山沿い	氷点下6度
会津の平地	氷点下2度
中通りの山沿い	氷点下4度
中通りの平地	氷点下2度
浜通りの山沿い	氷点下4度
浜通りの平地	氷点下1度

です。

＜防災事項＞

強い霜や凍害に対する農作物の管理に十分注意してください。

【補足事項】

これで「強い霜に関する福島県気象情報」は終了します。

県の農業振興課のホームページに、作物別凍霜害等気象災害防止対策（平成27年3月25日）を掲載していますので、活用願います。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/108214.pdf>

## 【果 樹】

現在の果樹の生育は平年より進んでいる状況です。今後、急激な気温の低下が予測されますので、防霜対策と結実確保対策を徹底しましょう。

### 1 防霜、凍霜害対策

生育が進むにつれ耐凍性が低下し、凍霜害の危険性が高くなりますので、気象情報には十分注意し、防霜対策を徹底しましょう。

事前対策として、防霜資材の手配と準備を徹底するとともに、地温の上昇を図るため、4月中旬以降をめぐり下草を5cm程度に刈り込みましょう(地際部まで刈ると放射性物質をまきあげるので注意しましょう)。

また、空気や土壌が乾燥している場合は適宜かん水を実施し、土壌水分の確保に努めましょう(乾燥条件は気温の低下を助長します)。

なお、降霜による被害が見られた場合は、被害状況を確認のうえ、人工受粉を徹底し結実確保を促しましょう。

## 2 開花予測(果樹研究所)

今後の気温が平年並みに経過した場合、もも「あかつき」の開花始めは4月12日で平年より3日早く、なし「幸水」の開花始は4月20日で平年より3日早く、りんご「ふじ」の開花始めは4月24日で3日早いと予測されます。

なお、この時期の生育は直前の気温の影響が大きいため、今後の気温の推移により大きく変動する可能性があるため注意しましょう。

表2 開花予測日 [予測方法：発育速度(DVR)モデルによる発育予測]

			開花始め		今後の気温経過と開花予測日		
			昨年	平年	平年並み	2℃高い	2℃低い
もも	あかつき		4月14日	4月15日	4月12日	4月10日	4月15日
なし	幸水		4月21日	4月23日	4月20日	4月16日	4月24日
りんご	ふじ		4月25日	4月27日	4月24日	4月20日	4月29日

注)開花始めの平年は1981～2010年の平均値。

## 3 結実確保対策

果樹の開花は、直前の気温に大きく影響されるため、今後の気温の推移に十分注意し、訪花昆虫導入の手配、開やく作業の準備、人工受粉時の労力確保等を計画的に行いましょう。

## 【水 稲】

浸種は、10℃で10日間、15℃で7日間が目安です。水温が低すぎると発芽揃いが悪くなりますので水温を下げないよう、①育苗ハウス等の比較的暖かい場所で浸種する、②浸種容器を保温資材で覆う、③水温が下がりそうな場合は温水を加える、などの管理を行いましょう。なお、浸種期間は、水温を定期的に測定し温度管理を徹底してください。

無加温出芽の場合は、低温により出芽揃いが悪くなり、苗の生育が不揃いになります。低温が続く場合には、保温資材を活用し温度確保に努めてください。

また、育苗期間中に低温(概ね5℃以下)に遭遇し、その後30℃以上の高温や過湿、水不足等の不良条件におかれると苗立枯病等が発生しやすくなります。温度管理(日中の換気と夜間の保温)には、十分に注意をしてください。

積雪が予想される地域では、育苗ハウスや育苗トンネルの除雪を徹底し、被害防止に努めてください。

表1

ステージ	温度管理	水管理	備考
播種時～出芽揃	28℃	播種時箱当標準1 $\frac{1}{2}$ ℓ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もみ枯細菌病対策のため温度管理は28℃以下とします。</li> <li>・強風やかん水ムラがあると苗の生育が揃いません。</li> <li>・低温、過湿が継続すると根張り(マット形成)不良になります。</li> </ul>
緑化期	昼 20～25℃ 夜 15℃	午前中にかん水。	
硬化期	昼 20℃ 夜 10～15℃	朝方たっぷりかん水。(日中高温で乾燥する場合は、必要に応じて早い時間帯にかん水します)	

## 【野菜・花き】

### 1 育苗・施設栽培

無加温ハウス内の作物には、カーテン、小トンネル、保温マット等を被覆し、補助暖房器具を用意して温度の確保に努めましょう。ストーブ等補助暖房器具を燃焼させた場合には、換気をしてからハウス内に入るようにしましょう。

日中晴れてハウス内が高温となった場合には、換気を行い、作物が軟弱な生育をしないように努めましょう。

### 2 トンネル・露地栽培

トンネル栽培ではビニール等に加え、不織布等の保温資材を被覆し、保温に努めましょう。

露地栽培では無理な早まき・植付けは行わず、既に植付けした場合は、トンネルやベタがけ資材の被覆により保温に努めましょう。

バレイシヨ(萌芽期)は、土寄せして被害を防止しましょう。

被害が発生した場合は、欠株の補植、速効性肥料の施用等適切な肥培管理により草勢の回復を図るとともに、病害虫の適切な防除を実施しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL 024(521)7339

○農業振興課ホームページ：以下のURLより他の農業技術情報等をご覧ください

URL：<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/>

○ふくしま新発売：以下のURLより最新の農林水産物モニタリング情報、イベント情報等をご覧ください。

URL：<http://www.new-fukushima.jp/>